

令和4年 1月

■一般文学

「産まれてすぐピエロと呼ばれた息子」

・著:ピエロの母

・出版社:ベストセラーズ

「道化師様魚鱗癬(どうけししょうぎよりんせん)」。

50～100万人に1人の割合で生まれてくると言われる皮膚の難病をもって生まれた長男“陽くん”とその両親が病気に立ち向かっていく様子がまとめられた作品です。

出産後、生まれたばかりの我が子の全身の皮膚が魚の鱗のように剥がれ、まるで“ピエロ”が着る道化服をまとっているような姿から衝撃を受けた母親の心境や、育児の際の様々な苦労。そして周囲の人の目を気にしながら外出もままならない日常などが描かれ、「少しでも多くの人に、この難病を知ってもらいたい」という思いから綴られた感動の一冊となっています。

(対象 一般)

■一般書

「樹木希林さんからの手紙 人生上出来！と、こらえて歩こう」

・著:NHK「クローズアップ現代+」+「知るしん」制作班

・出版社:主婦の友社

毛筆で、枠に収まらない、大きく整った字で書かれた手紙。読むと目の前で樹木希林さんが話しているような、そんな感覚になります。飾らない、自分をさらけだした、その言葉ひとつひとつが、不思議とほんと安心します。人間は完璧ではない。今のままの自分でいいのではないかと思えてきます。樹木希林さんが、映画や番組を通して知り合った人々と、手紙や実際に会ってどのようなやりとりをしてきたのか。どのやりとりも心が温まります。手紙にはところどころ本人の似顔絵もついています。かわいらしいおばあちゃんの希林さんから、明るく生きる、人を大切に生きて生きる、そんな生き方のいろいろを教わる一冊です。

(対象 一般)

■児童書

「ワンダー」

・作:R.J.パラシオ

・訳:中井 はるの

・出版社:ほるぷ出版

クラスの中に、ちょっと見た目が変わった子がいたらどう思いますか？オーガストは生まれつきの病気のため、顔が「ふつう」じゃありません。でも、それ以外は「ふつう」の男の子です。

10歳から初めて学校に通うことになったオーガスト。その見た目から、生徒たちにじろじろ見られたり、避けられたり……。その一方で、オーガストのことを面白いと思う生徒もでできます。物語は、オーガストをとりまく登場人物それぞれの目線から描かれています。

障がい、ルッキズム、友情、家族……様々なテーマが詰まっています。読み終えた後、あなたの心に残るものは何でしょうか。

(対象 小学高学年から)

■絵本

「ウェン王子とトラ」

・作・絵: チェン・ジャンホン

・訳: 平岡 敦

・出版社: 徳間書店

深い森の奥で悲しそうな声をあげている母トラ。子どもたちを獵師に殺された母トラは、憎しみのあまり夜ごとに村を襲うようになりました。村の惨劇の知らせを聞いた王はトラ退治を国の占い師に尋ねます。占い師の予言は「王子をトラに差し出せば国に平穏が訪れる」と。王と王妃は国を守るため幼い王子を森の奥におきざりにします。

人間を憎しみながらも小さき弱きものを愛するトラと、勇敢で心優しい王子。人と獣の世界を結ぶ存在へと成長する王子ウェンの姿に心を揺さぶられます。愛というものを感じずにはいられないこのお話は、2005年ドイツ児童図書賞を受賞しており、水墨画の技法で描かれた絵がこの物語をいっそう盛り立てています。

(対象 小学低学年から)